

クラス番号	333	担当教員名	林 祐介
テーマ	医療福祉と医療ソーシャルワーク		
著書・論文 研究課題等	著書：『効果的な退院・転院支援—医療ソーシャルワーカーの専門的役割』旬報社,2019【単著】。 論文：「保証人不在者事例におけるソーシャルワーク支援上の困難性についての一考察」『保健医療社会福祉研究』第30巻,2022【単著】。 研究課題：医療提供施設における保証人不在者についての困り事と対応方法の開発研究		

ゼミナール概要

キーワード：医療ソーシャルワーカー、退・転院支援、保証人問題

目的、内容、方法等：

毎回、テキストや事前に配布した資料を用いた全員参加型のゼミを開催します。併せて、出席者にはゼミ内で最低1回は発言してもらえるような機会を設けることで、プレゼンテーション能力の習得を目指します。具体的には、担当教員からの事務連絡の後、全員が1分間スピーチを行い、お互いの近況報告をします。その後、回の担当学生より、事前に指定されているテキストや事前に配布した資料についての概要説明をしてもらい、それぞれが感じたこと・考えたことを、全員が報告します。さらに、回の担当学生には、気になる医療福祉関連の新聞記事を準備・紹介してもらい、感想の共有をします。加えて、これらのやりとりの中でその都度、ゼミ討論のテーマを設定し、それについての話し合いを行います。最後に、担当教員よりまとめのコメントをします。

なお、準備学習として、学生には以下の2つのことをお願いしています。①回ごとに指定されているテキストや配布資料は必ず一読し、前もって感じたこと・考えたことを整理しておくこと。②回の担当者は気になる医療福祉関連の新聞記事を選定し、ゼミ当日に人数分持参すること。レポートは、半期に1～2回課すことを予定しています（※卒業論文指導時には、論文草稿を毎月提出してもらう予定です）。

授業計画：

私のゼミでは、医療福祉現場の実態とそれに関連する内容の学習を通して、将来医療施設等で社会福祉専門職として働く上で必要な能力を身に付けることを目的とします。具体的には、文献学習やゼミ討論を行い、医療施設等での社会福祉専門職の役割を理解し、医療ソーシャルワークの意義を自分の言葉で説明できることを目標とします。加えて、担当教員による添削を含めたレポート指導を行うことで、文書作成能力の習得を目指します。上記内容を踏まえつつ、ゼミ生がそれぞれのテーマを設定しながら、ゼミ活動を行っていきます。

3年時の前期テーマは、「リハビリテーション医学の視点と医療ソーシャルワークの基礎を学ぶ」です。文献学習やゼミ討論を中心に実施します。3年時の後期テーマは、「医療ソーシャルワークの基礎と実践を学ぶ」です。4年時の前期テーマは「医療現場の状況とそれを取り巻く環境について学ぶ」、後期テーマは「医療ソーシャルワークの実践と応用を学ぶ」です。3年時の前期と同様、文献学習やゼミ討論を中心にを行います。さらに、可能であれば病院・施設見学会（3・4年生合同）を行うことを予定しています。医療福祉現場での医療ソーシャルワーカーの働きとそこで働くための基礎的なイメージを掴んでもらいたいと考えているためです。

担当教員からのメッセージ

ゼミテーマ&ゼミ活動の内容を踏まえると、将来医療施設等で社会福祉専門職として働くことを希望する学生、医療福祉分野に興味・関心のある学生が対象になると考えますが、医療ソーシャルワーカー志望者でなくても大丈夫です。また、特別な事情がない限り、卒業論文執筆は必須とします。一方、医療ソーシャルワーカー志望者には、社会福祉士合格を目指すことを義務付けます。医療ソーシャルワーカーとして就職する上で、社会福祉士資格を有することを必須としている医療施設が多いからです。厳しいゼミかもしれませんが、担当教員という立場から、皆さんの身になるように、誠心誠意サポートさせていただければと思っています。